

生きづらさにどう対応するか

日本精神保健看護学会では、**専門職の方々**はもちろん、**当事者の方**や**ご家族の皆さま**を対象に、**無料**でご参加いただける公開講演会を開催しています。精神保健にまつわる最新の知見や実践的な工夫を分かち合い、ともに考える場として、是非ご活用ください！



第2回

9月17日(木) 19:00-20:15

【テーマ】

精神障がいのある人が「家族(大切な人)をつくる」支援

【講師】

蔭山 正子 さん [大阪大学大学院 教授]

あいりきファシリテーター

【講義概要】

障がいの有無にかかわらず、家族の存在は人生において重要です。しかし、精神障がいのある人は、恋愛や結婚、妊娠・出産、育児といった家族形成の過程でさまざまな困難を経験することがあります。一方で、これまで精神障がい者の結婚や生殖に関する支援は十分に注目されてきませんでした。本講演では、近年の社会的動向も踏まえながら、精神障がいのある人が直面する障壁と必要な支援について、演者らの研究成果をもとに紹介します。



第3回

12月17日(木) 19:00-20:15

【テーマ】

親と子のためのメンタルヘルスケア

【講師】

松長 麻美 さん [国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター]

【講義概要】

妊娠・出産・育児期は親子にとって重要な時期です。一方で、親子間の愛着形成、役割の変化や新しい責任への適応など、この時期特有の様々な課題もあります。また、妊娠・出産・育児をめぐる社会のあり方が及ぼす影響も無視できません。本講演ではこうした背景を踏まえつつ、周産期を中心とした親と子どものメンタルヘルス支援のあり方について考えたいと思います。

対象:教育関係者、一般市民、医療福祉関係者
方法:Zoomによるオンラインセミナー
時間:1回75分(講義60分、質疑応答15分)
参加方法:右のQRコードからアクセスし
メールアドレスをご入力ください



問い合わせ先(主催)
日本精神保健看護学会 社会貢献委員会
mail:japmhnsyakai@gmail.com